

地域の連携が、地域を守る

6月18日、午前7時58分、大阪府北部において震度6弱の地震が発生しました。尊い人命が失われたことを心からお悔やみ申し上げます。今回の地震をわがごとくとして受け止め、本市でも対策を強化していきます。皆さんも普段生活する地域の中で、災害への備えを考えましょう。 問合先 危機管理課 ☎(275)6247

その1秒が命を救う

発災直後は、交通網・通信回線の混乱や同時に複数地域で発生する火災などにより、行政、消防、警察などの救援がスムーズに到着できない場合があります。素早い対応を行うためには、地域の連携が必須になります。

実際に阪神・淡路大震災では、家屋の下敷きになった方の大多数を救ったのは地域の方の助けによるものでした。

また、地域ごとの特徴（古い家屋が多い、避難経路が狭い等）が異なるため、それぞれの地域に合わせた災害対策を行うことはとても有効です。

もはや他人事ではない「いざ」に備えるために、地域の連携を強めていくことが重要です。

各地域で行われる自主訓練

市内では、地域住民の有志で結成された自主防災組織等の主導により、地域ごとに自主的な訓練が実施されており、1度の訓練に約300人が集まる地域もあります。訓練に参加する方が増えれば増え

るほど、実際の災害に近い状況での訓練が可能になり、「いざ」に対する防災力は向上していきます。地域のつながりを広げていくことが、将来予想される災害から命を守る一歩につながります。



【地域で行われる訓練の様子】 1 初期消火訓練 2 心臓マッサージ
3 バケツリレー 4 担架作成訓練 5 放水訓練

大阪府北部の地震における本市の取り組み

大阪府北部の地震に対して、本市においても、市内公共施設の点検や被災地への職員派遣等を実施しました。

■市内公共施設の点検

市では、学校を始めとする全ての市有施設について、地震発生直後から被害状況の確認を行いました。

また、今回の地震により他市で発生したブロック塀の倒壊を受けて、本市でも市有のブロック塀について、対策が必要な箇所を抽出するために一斉点検を実施しています。対策が必要と判断した箇所については、早期に対処していきます。

併せて、主に児童・生徒が通学に使う道路についても、各学校と市で協力してブロック塀等の調査を実施しました。子ども達が安心して通学できるまちづくりのため、取り組みを進めます。

防災シンポジウム

市民と行政ぐるみで取り組む

災害に強いまちづくり

8月9日 **Thu. 木** 13:30~15:30 (開場 13:00)
アプラ大ホール

今後起こり得る上町断層帯地震や南海トラフ巨大地震などに備えて、大阪府北部で起こった地震の事例を踏まえ、「今なにが必要か？」を再確認するためのシンポジウムです。

1. 基調講演

「大阪府北部の地震に見る都市型災害の実態」



高石市防災危機管理アドバイザー

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科 科長

室崎 益輝 氏

大阪府北部の地震では、水道ガス等の寸断、ブロック塀等の建築物の倒壊、家屋被害、要支援者の避難誘導、交通網のマヒによる帰宅困難者など、都市部における災害で多くの課題がクローズアップされました。これは本市でも予想されるものです。

日本災害復興学会会長、地域安全学会監事などを歴任した室崎氏をお招きし、いざ災害が起こった時に、私たちにとって必要となる備えと行動について講演いただきます。

2. パネルディスカッション

「高石市で都市型災害に備えるために」

【コーディネーター】

室崎 益輝 氏

【パネリスト】

高石市防災危機管理アドバイザー

神戸大学名誉教授

沖村 孝 氏

高石市長

阪口 伸六



※内容は一部変更になる場合があります。

大阪府北部で起こった地震の被災市町にご支援を！

義援金の募集のお知らせ

皆さんの温かいご支援をよろしくお願いいたします。
以下の金融機関において口座振込により受付いたします。

金融機関 りそな銀行
支店名 大阪公務部
店番号 053
口座番号 (普通) 1832206
口座名義 平成 30 年大阪北部地震義援金
(ハチイソノウチノオサカホクシノシノギエンギン)

詳しくは、大阪府ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.osaka.lg.jp/fukushisomu/gienkin/index.html>



【本市職員が災害証明発行に向けた住家被害認定調査に従事する様子】

■被災地への職員派遣等
大阪市、箕面市、高槻市に本市職員を派遣しました。断水地域では応急給水、被災家屋に対しては、応急危険度判定や住家被害認定調査より災害証明発行等に従事し、被災地の早期復旧に向けて支援を行っています。